

令和4年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

【社会生活コース】

ねらい：社会に関わる様々な事象について学び、社会や生き方を見つめ直すヒントを得る。

日 程：原則として、各回月曜日 14:00 から 15:30 まで

会 場：グリーンカレッジホール シニア学習プラザ(志村3-32-6)3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9～11回) 10月31日 11月7日 11月14日</p> <p>東洋大学副学長 法学部法律学科教授・ 弁護士</p> <p>はやかわ かつひろ 早川 和弘</p>	<p>法を知って自分を守ろう！</p> <p>「法」には、難しそう、堅苦しそうといったイメージがあるようです。しかし、法は、私たちの日々の生活で生じたトラブルを防ぐために、先人が作り出したものです。「どんなトラブルがあったのか」を理解すると、条文は生き生きと語りだします。条文が何を語っているのか、一緒に紐解いていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●10月31日：法的思考の基礎知識 ●11月7日：私法で自分を守ろう！ ●11月14日：公法で自分を守ろう！ 	<p>法に関する基本的な事項を理解し、身の回りや社会で発生している様々な問題を、法的視点から捉える能力を身につけます。</p>
<p>(第12～13回) 11月21日 12月19日</p> <p>渋沢史料館 館長</p> <p>くわばら こういち 桑原 功一</p>	<p>渋沢栄一の生き方①</p> <p>渋沢栄一は、日本に近代的経済社会の基礎を築いた人物といわれています。数多くの株式会社の設立・育成に関わり、経済人としてのイメージが強いですが、教育や福祉など社会公共事業、民間外交にも中心的に尽力しています。そうした幅広い実践活動は、どのような考えをもとに行われたのか、栄一の生き方について探ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●11月21日：青年期に渋沢栄一がどのように志をたてたのかについてみてみます。 ●12月19日：渋沢栄一の「論語と算盤」の考えとその意義を探ります。 	<p>近代日本の変革期における渋沢栄一の生き方を学び、変化が激しい現代社会に生きる自分をとりまく課題解決のヒントを得ます。</p>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第14～16回) 1月16日 1月30日 2月20日</p> <p>東京都立大学 都市環境学部教授</p> <p>いさご のぶひろ 砂金 伸治</p>	<p>私たちの生活とトンネル・地下空間</p> <p>日本は国土が狭く平地が少ないことから、地下空間を有効に利用することが求められており、その解決法のひとつとしてトンネル技術が発展してきました。本講座では我が国の地盤に合わせたトンネルの構造や施工法、また、その利用を支えているさまざまな理論や技術の紹介を通じて、世界最高水準といわれる我が国のトンネル技術と社会生活との関わりを考えていきましょう。</p> <p>●1月16日：トンネルの基礎 ●1月30日：トンネルを調べる・作る ●2月20日：トンネルを使う・守る</p>	<p>地盤や構造等の理解を通じて、身近な現象を工学的な視点から捉える能力を習得します。</p>
<p>(第17～18回) 2月27日 3月13日</p> <p>渋沢史料館 館長</p> <p>くまのら こういち 桑原 功一</p>	<p>渋沢栄一の生き方②</p> <p>渋沢栄一は、日本に近代的経済社会の基礎を築いた人物といわれています。数多くの株式会社の設立・育成に関わり、経済人としてのイメージが強いですが、教育や福祉など社会公共事業、民間外交にも中心的に尽力しています。そうした幅広い実践活動は、どのような考えをもとに行われたのか、栄一の生き方について探ります。</p> <p>●2月27日：渋沢栄一の企業活動を通して「論語と算盤」の考えをみてみます。 ●3月13日：社会公共事業活動を中心に渋沢栄一がめざした社会について探ります。</p>	<p>近代日本の変革期における渋沢栄一の生き方を学び、変化が激しい現代社会に生きる自分をとりまく課題解決のヒントを得ます。</p>

【注意事項】

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほか、卒業レポートを提出していただく必要があります。卒業レポートの提出期間は、11月1日(火)～12月19日(月)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
 - 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
 - 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。
- (板橋区教育委員会事務局生涯学習課社会教育推進係 グリーンカレッジ担当 電話 3579-2633)